
レッスンの前に、必ずニュースを聞いてください。

上級者向け

<http://www3.nhk.or.jp/news/html/20170426/k10010961851000.html>

レッスンを始める前に

- ・ニュースを聞き、内容をしっかりと読んでください。
- ・分からない単語は、辞書で調べてください。
- ・一人で音読できるように、練習をしてください。
- ・ニュースの感想を考えてください。

レッスンの進め方

1. 先に講師が読みますので、後に続いて読んでください。
2. 分からないところを質問してください。
3. 内容に対し講師が質問をしますので、答えてください。
4. このニュースが伝えたいことは何か、簡単に説明してください。
5. ニュースを見て思ったこと、感じたことを話しあいましょう。

レッスンの注意点

いっぱい話しましょう。間違えても構いません。

わからないところ、疑問におもったところはどんどん質問しましょう。

間違えたところはメモを取り、レッスンの後に復習をしましょう。

[2016年05月25日 NEWS WEBより]

<http://www.asiaq.net>

～上級者向け ニュース記事～

来春卒業の大学生・大学院生の求人倍率 6年連続上昇

来年春に大学や大学院を卒業する学生に対する企業の求人倍率は1.78倍と、6年連続で上昇したという民間の調査がまとまりました。特に、人手不足が続く流通業と建設業は、これまでで最も高い倍率となっています。

情報サービス大手のリクルートホールディングスは、毎年2月から3月にかけて、従業員5人以上の企業およそ7000社を対象に採用予定数などの調査を行っていて、今回は、全体の62%に当たる4509社から回答がありました。

情報サービス大手のリクルートホールディングスは、毎年2月から3月にかけて、従業員5人以上の企業およそ7000社を対象に採用予定数などの調査を行っていて、今回は、全体の62%に当たる4509社から回答がありました。

それによりますと、来年春に大学や大学院を卒業する学生に対する求人倍率は1.78倍で、前の年の調査を0.04ポイント上回り、6年連続の上昇となりました。

業種別で見ますと、最も倍率が高かったのは人手不足が続く流通業で11.32倍、次いで建設業が9.41倍となっていて、いずれも、これまでで最も高くなりました。このほか、製造業が2.04倍、金融業が0.19倍などとなっています。

来年春に卒業する大学生や大学院生の就職活動は6月から面接が解禁されますが、ことしは建設や流通業界で、学生に優位な売手市場となる傾向が一層、強まりそうです。

調査を担当したリクルートワークス研究所の戸田淳仁主任アナリストは「流通業や建設業は、働き方や労働時間といった点で学生から厳しいというイメージを持たれており、ほかの業種と比べて就職を希望する学生が少ないことも、求人倍率が高くなった背景にあるのではないかと話しています。